

平成28年度 学校評価の報告

校長 伊藤 民子

今年度の学校評価についてご報告いたします。本校の学校評価は、年度初めに学校経営計画の重点目標に示した項目を中心に振り返りを行っています。流れとしては次のようになります。

学校評価の流れ

- 4月 学校経営計画提示 → 第1回学校教育推進会議（6月実施）
- 5月 教育課程説明会（保護者向け）
- 10月～11月 教職員による自己評価 I
- 12月 学校アンケート実施（保護者、学校教育推進会議の方々）
- 1月～2月 教職員による自己評価 II
- 2月 第2回学校教育推進会議
- 3月 学校評価結果の報告及び公表

I 自己評価について

<教職員>

- 年度初めに、教職員全体で、めざす学校像と本年度の学校経営方針の5つの柱について、学校の現状分析を行い、重点目標の確認と取組について話し合いました。
- 12月に、前期の取組の成果と課題を出し合い、後期にむけての具体的な改善（Action）を話し合いました。
- 2月に、今年度の学校評価について振り返り、来年度への課題を具体的に話し合いました。

<生徒>

- 12月に、①生活面 ②学習面 ③諸活動 ④生徒会年間の活動やテーマを振り返っての4点について学級ごとに話し合ったものを学級委員がまとめ、1月の評議会で報告しました。
- 1月27日に1・2年生の生徒代表と校長が懇談会をもち、中原中学校の現状等について意見交換を行いました。
- 2月に行われた学校教育推進会議に、代表生徒11名（生徒会本部役員と1・2学年から代表生徒）が出席し、生徒の視点で話し合ったことを報告しました。

<保護者>

- 授業参観や行事で来校された際に、記述式のアンケートをその都度とらせていただき、いただいた感想や意見は、教職員で情報を共有し次の活動に生かしました。
- 12月末に記述式のアンケートを実施し、たくさんの保護者の方からご回答をいただきました。（行事、授業や評価、部活動、その他について成果と課題、来年度への要望）

II 学校教育推進会議

- 学校教育推進会議を2回開催。（6月29日と2月10日に実施）
- 第1回学校教育推進会議では、今年度の学校経営計画に基づく説明と具体的な取組についてご説明させていただきました。
- 第2回学校教育推進会議では、今年度の学校評価の自己評価の部分（教職員、生徒、保護者）の内容を提示し、ご意見を伺いました。

Ⅲ 今年度の学校評価の具体的な内容と来年度に向けて

次は、今年度の学校経営の重点項目について、今年度の反省と来年度に向けての事項を簡単に示したものです。詳細については、市教委に報告後学校ホームページにも公開しますのでそちらをご覧ください。

○自ら学ぶ力を身につける

<成果と課題>

- ・授業の中で学び合いの場面を多く取り入れることによって少しずつ成果が上がったと思います。
- ・コミュニケーション能力の育成を図るために「小グループによる話し合い活動」を効果的に取り入れられるよう学習形態を工夫しました。
- ・授業が生徒にとってわかりやすいものになるように、教員同士がアドバイスし合うことを意識して取り組みました。
- ・日常生活で困っている生徒、学習に課題のある生徒について、放課後の学習等を活用していいいな支援をすることができました。
- ・自信をもって学ぶ姿勢を身につけ、「わかった」「できた」を確認しながら授業を進めていきたいと思っています。

<今後に向けて>

- ・日頃の授業の質を高めるために、研修の充実や教員同士の授業研究等を積極的に行います。
- ・生徒の良いところを見つけて評価してあげることにより、自己肯定感を育てる手立てを工夫していきたいと思っています。

○互いを認め尊重し合う

<成果と課題>

- ・道徳の研究推進をとおして、授業の準備のための話し合いをていねいに行うことができました。その結果、生徒たちが考えて議論することが少しずつできるようになってきました。
- ・生徒会本部の活動として「なっ中スマイルプロジェクト」を行い、委員会活動を中心として生徒主体の取組を行いました。
- ・創立70周年記念式典への取組をとおして互いを認め尊重し合う態度が育ったと思います。

<今後に向けて>

- ・中原中の良き伝統である「あいさつ」について、少し低迷しているのではないかとのご指摘を伺います。そのことをしっかり受け止めさらに活性化を目指して取り組みます。
- ・不登校生徒への働きかけについては、今後もねばり強くていねいに進めていきたいと思っています。

○広く社会に目を向ける

<成果と課題>

- ・創立70周年記念式典に向けては、短時間での準備でしたが生徒たちが集中して取組み、多くの生徒が達成感を味わうことができましたようです。
- ・創立70周年記念式典をとおして母校愛が深まり地域の方々にも感謝の気持ちをもって取り組めたようです。
- ・地域の方々がたくさんお世話になって行っている行事について、生徒がもう少し積極的にかかわることができるようにしたいと思います。

<今後に向けて>

- ・今後の中原中について何が必要かを考えられる生徒を育成することが大切だと思います。
- ・生徒が自ら判断して行動できるよう、いろんな場面や体験をとおして指導しなければならないと考えます。

○社会性を身につける

<成果と課題>

- ・地域防災訓練に生徒が参加し、地域の方々といっしょになって講演を聞いたり訓練をしたりすることによって防災意識を高めることができました。
- ・生徒の発達段階を考慮したかわりをもつことの大切さを教職員全員で確認し、生徒の実態を把握することができました。

<今後に向けて>

- ・挨拶について様々な意見をいただきましたが、全校的な広がりにつながるものがなかなかできないのが少し歯がゆく感じています。継続して取り組んでいきたいと考えています。

○健康な生活を心がける

<成果と課題>

- ・熱中症予防教室や性に関する指導、薬物乱用防止教室等で外部人材を活用した健康教育を実施し定着してきています。
- ・「安全・安心」な環境の中で部活動等において自らの判断で安全確認が行えるように声かけをし、できるようになった生徒が少しずつ増えてきています。
- ・体力向上を促すことを目的に、体育委員会が「ミニ体力テスト」を企画実施し、昼休みに外遊びをする生徒が少ないことが少し改善されてきました。

<今後に向けて>

- ・平成29年度からの中学校給食開始に向けて、環境づくりや時程の調整、アレルギー対応等について検討を始める体制を作っていきます。
- ・中学校の教員が小学校への給食体験や研修会に参加し、小中間の密接な関係づくりの継続と中学校給食の実施に向けて大いに参考になりました。その取組を生かして来年度の給食実施に臨みたいと思います。

<まとめ>

- ・第2回学校教育推進会議の様子は、校長室だよりNo.62で詳しくお知らせしましたので繰り返しません。 「もしもあなたが、中原中の校長先生になったら、どんな学校にするためにどんな方針を打ち出しますか」という内容で話し合いをし、委員の皆さんと生徒、教職員が同じテーマでいっしょになって話し合うことができたことが大きな成果でした。
- ・道徳の研究推進校として来年度は本発表の年になります。道徳の授業で生徒が考えたことをしっかりと発言できる、そして議論しながらねらいに迫る、そんな授業展開がどのクラスでもできるように、さらに研修を深めてまいります。
- ・あいさつのことがずいぶん話題になります。大きな声で元気よくあいさつをしてくれることを目指したいと思いますが、あいさつをする意味やコミュニケーションの手段であることをしっかりと伝えながら、心からあいさつのできる生徒の育成を目指します。
- ・いろんなご意見を保護者の方からいただきます。すべてのご意見を取り入れることはできませんが、いろんな声に耳をかたむけながら生徒たちがよりよい学校生活を送ることができるよう、来年度も計画していきます。
- ・今年度、創立70周年記念式典を終えてひと区切りしたところですが、今後の中原中の進むべき道をしっかり見極めるためにも、来年度はとても大切な年度になると思います。そのことを踏まえて来年度の計画を立てたいと考えています。
- ・今後も、地域の皆様に支えていただきながら学校経営を進めてまいりますのでご支援ご協力よろしくお願いたします。